

「天使のようなマレ」と「悪魔のようなフォルクレ」—名手たちの饗宴—

イタリア人の血がそうさせるのか、ギエルミ兄弟の演奏には、音楽そのものに歌がある。

今回来日のギエルミ・アンサンブルのメンバーは4人。イル・ジャルディーノ・アルモニコの初期メンバーで、ミラノの聖シンプリチアーノ教会のオルガニスト、世界的に活躍するロレンツォ・ギエルミ(兄)。兄に負けない名声と実力を誇る天才肌のガンバ奏者ヴィットリオ・ギエルミ(弟)。このふたりを核に、ギエルミ・ファミリーの血筋をひき将来を嘱望されているロレンツォのご息女で、現役女子大生アンナ・マッダレーナ・ギエルミ、ドイツの古楽オケ、コンチェルト・ケルンのコンサートミストレス、優雅、果敢な演奏で注目を浴びる実力派、平崎真弓。バロック音楽の芸達者な名手たちにより、デュオ、トリオなど極上のアンサンブルが繰り広げられます。



平崎 真弓 Mayumi Hirasaki (バロック・ヴァイオリン)

東京藝術大学音楽学部在学中の2001年秋よりドイツ・ニュルンベルク音楽大学に留学。元ウィーン・フィルハーモニーのコンサートマスター、ダニエル・ゲーデ教授に師事。2005年ディプロムを最優秀で取得後、2007年に同音楽院マイスタークラスにてドイツ国家演奏資格を取得。2006年第15回J.S.バッハ国際コンクール(ライブツィヒ)においてモダン・ヴァイオリンで第2位を受賞。2007年秋よりミュンヘン国立音楽大学にてバロック・ヴァイオリンを マリー・ウティガー教授に師事、2008年10月に審査員の満場一致でマイスター試験に合格。また同年夏に開催されたベルギー・ブルージュの国際古楽コンクールではバロック・ヴァイオリンで第3位を受賞。2011年よりコンチェルト・ケルンのコンサートミストレスとして、バロックの多彩なプログラムで欧米を中心に演奏活動を行っている。ロレンツォ・ギエルミ、ヴィットリオ・ギエルミとも定期的に共演。パーゼル室内管弦楽団、ラ・ディヴィナ・アルモニアなどのオーケストラ、アンサンブルにソリスト、コンミスとして各国の音楽祭に招待されている。

2014年にはドイツ・グラモフォンよりジュリアーノ・カルミニョーラ氏とコンチェルト・ケルン共演のCDがリリースしてされ、2017年に共に来日。2009年より Folkwang 音楽大学のバロックヴァイオリン科の講師を務めたのち、2017年10月よりザルツブルグ・モーツアルテウム音楽大学バロックヴァイオリン科の教授に就任。ケルン在住。



アンナ=マッダレーナ・ギエルミ Anna Maddalena Ghielmi (バロック・ヴァイオリン)

イタリア、ミラノ近郊ヴァレーゼ生まれ。ロレンツォ・ギエルミの娘。音楽家ファミリーに育ち、アンナ・モデスティ教授のもと、4歳からヴァイオリンをはじめ、ミラノ市立音楽院でカルロ・フェイゲに学ぶ。現在は、英国マンチェスターに在住、ヤン・レブコのもと、チェサムズ音楽学校で学んでいる。平崎真弓率いるコンチェルト・ケルン、ザルツブルグ・モーツアルテウム・オーケストラ、ラ・ディヴィナ・アルモニアなどの公演に出演している。



ヴィットリオ・ギエルミ Vittorio Ghielmi (ヴィオラ・ダ・ガンバ)

イタリア古楽界を代表する名ヴィオラ・ダ・ガンバ奏者、指揮者、作曲家。現在、ザルツブルグ・モーツアルテウム音楽大学ヴィオラ・ダ・ガンバ科教授、英国王立音楽大学教授。フィルハーモニア管弦楽団、イル・ジャルディーノ・アルモニコ、フライブルク・バロック・オーケストラなど著名なオーケストラにソリストとして出演。また古楽シーンのリーダーの一人として、グスタフ・レオンハルト、バルトリ、ゲーベルなどと共演している。彼のアンサンブル、イル・スオナル・パルランテは、主要なホールに定期的に招かれ、古楽レパートリーの新たな研究のみならず、マルクス・シュトックハウゼンなどジャズ界の錚々たるメンバーとの新しいプロジェクトにも意欲を燃やしてきた。これまでに多くのCDの録音に参加し、数多くの賞を受賞している。



ロレンツォ・ギエルミ Lorenzo Ghielmi (チェンバロ)

イタリアを代表するオルガニスト、チェンバリスト、指揮者で、ルネサンスとバロック音楽の研究家。現在、ミラノの聖シンプリチアーノ教会(1991年アーレント製作)のオルガニストで、1992年から1994年にかけてJ.S.バッハのオルガン全曲演奏会を開催。ミラノ国際音楽アカデミー古楽研究所でオルガン、チェンバロそして室内楽の教鞭を執っているほか、世界中の著名なオルガン・コンクールの審査員、またマイスタークラスの講師としても招聘されている。パーゼル・スコラ・カントールム元教授。

イタリアの古楽アンサンブル、イル・ジャルディーノ・アルモニコの初期メンバーとして、レコーディングやライブに参加。2005年には、自身の古楽アンサンブル「ラ・ディヴィナ・アルモニア」を結成。ヘンデルのオルガン協奏曲第1集、第2集(両方ともディアパゾン賞受賞)などの録音のほか、数多くのCDをリリース。東京カテドラル聖マリア大聖堂のオルガン建設のための芸術コンサルタントを務めた様子は、2004年NHKハイビジョン特集「パイプオルガン誕生」で紹介された。夭折した17世紀のオルガニストで作曲家ニコラウス・ブルーンスの著書がある。

宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする

宗次フレンズ 会員募集

会員登録していただいたフレンズ会員様は一般発売より先行してチケットをご購入頂けます

会員登録・年会費 無料

詳しくは、宗次ホール(052-265-1715)までお問合せ下さい。

交通アクセス
地下鉄栄駅⑫番出口より東へ徒歩4分



くらしの中にクラシック



名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsuguhall.com
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター
営業時間:10:00~16:00
※13:45以降に開演の公演がある場合は18:00まで営業
年中無休(年末年始、施設メンテナンス日を除く)